

アメリカでのアニメ文化

ANIME

9月

2025年

山口国際交流員
メザ・マリア・アレハンドラ



令和7年9月号 レポート

アメリカで広がる日本のアニメ

The Spread of
Anime in America



Maria A Meza

はじめに

アニメは日本で生まれたエンターテインメントですが、今では世界中で楽しまれている人気のカルチャーです。同じ作品でも、国によってその楽しみ方には大きな違いがあるのがおもしろいところですね。今回は、そんな中で特に「アメリカでのアニメの楽しみ方」に注目して、レポートしてみたいと思います！

アニメがアメリカでウケた秘密は？

アニメはもともと日本で作られているのに、どうやってアメリカの人たちの手に渡ったのでしょうか？

実は、アメリカでも私が子どものころからテレビでアニメが放送されていました。「ドラゴンボール」や「ナルト」、「遊☆戯☆王」、そして「ポケモン」などは当たり前のように流れていました。

しかも、アメリカの視聴者にも楽しんでもらえるように、英語吹き替えやローカライズ（翻訳・文化調整）もされていました。そのローカライズによって、ちょっと不思議で笑ってしまうような演出もあったのでご紹介します！



アニメ「ポケモン」

アメリカの子どもたちは「おにぎり」という食べ物を知らなかったため、アニメ「ポケモン」では、おにぎりが「ドーナツ」として翻訳されたことがあります。有名なセリフにこんなものがあります：

"These donuts are great. Jelly filled are my favorite."

（「このドーナツおいしいね。中にジャムが入ってるのが一番好き！」）

でも、画面に映っていたのはどう見てもおにぎり！



アニメ「ワンピース」

「ワンピース」も、アメリカの子どもたちが観られるようにかなり大胆に変更されたアニメの一つです。アニメのキャラクターの服装をはじめ、武器のデザインやストーリーの内容まで、様々な部分がアメリカの子ども向けに変更されていました。

元の日本版ではサンジがタバコをくわえています、アメリカ版ではそれがロリポップに変更されています。

2007年以降、NetflixはDVDレンタルからストリーミングに移行し、それとともにアニメは以前よりもずっと手軽に楽しめる存在になりました。普段あまりアニメを見ない人でも、「ちょっと気になるな」と思ったときに、好きなタイミングで気軽に視聴できるようになりました。そのおかげで、アニメファンはどんどん増えています！



日本の“MANGA”

子どものころに、アメリカでも英語版のマンガをよく買っていました。有名な本屋さんには“MANGA”コーナーがあり、マンガが普通に並んでいました。マイナーな作品まで置いてあったのは今思うとすごいことです！

ただし、一冊が7ドル（当時で約1000円ぐらい）もしていましたので、子どもにしては贅沢品でした。ですから、日本の子どもたちのように「部屋中漫画だらけ！」という夢はなかなか叶えられませんでした。

しかし最近、円安の影響でアニメグッズや漫画が海外でも手に入りやすくなり、今では「日本ブーム」と呼ばれるほど日本の文化が世界中で注目されています！



Maria A Meza

アメリカでの コミケット風の イベント

今でこそ日本のアニメグッズや雑貨が手に入りやすくなっていますが、10年ほど前までは日本円が高く、日本のアイテムはとても高価なものでした。

たとえば、子ども向けの小さなヘアクリップでさえ、日本からの輸入品だと20ドル（当時で約3000円）もしていました！ですから、当時日本のものを持っている子は「かっこいい！」「すごい！」と憧れの存在でした。日本製品はまるでブランド品のように特別なものとして見られていました。

そうしてアニメグッズを手に入れたり、アニメ好き同士が仲良くなったりするために、アニメイベントが生まれました。日本のアニメグッズはなかなか手に入らなかったため、中国製のアニメ関連商品や、アニメと日本にインスパイアされた手作りのグッズなどがアメリカで販売されていました。いわば、「本物の日本文化にはなかなか触れられないけど、自分たちの手で再現して楽しみたい！」という思いから、多くの人が集まり、自分たちの想像する日本を表現しようとしていました。私はこのような文化が本当に素敵だと思いますし、心から大好きです。同じアニメを楽しむイベントでありながらも、その雰囲気や目的は日本のコミックマーケットとはまったく異なる独自の魅力があります。



円安の影響

現在では、円安の影響で、日本に來ると中古のアニメフィギュアがなんと3ドル（約500円）程度で買えることもあるんです！

今までアメリカでは、そんなに安くアニメグッズを手に入れるのは難しいことでした。

そのため、以前は手が届かなかったアイテムを、今ではみんなどんどん買うようになっています。円安のおかげで、アニメイベントでも、そして普通のお店でも、日本製のアニメグッズがより手軽に購入できるようになりました。

こうした流れの中で、「アニメをきっかけに日本に行ってみたい！」という外国人の方も増えていて、アニメは外国の方が日本に來る理由の一つにもなっています。



Maria A Meza

INTRODUCTION

Anime was born in Japan, but today it's a wildly popular form of entertainment enjoyed all over the world. What's fascinating is how the same shows can be experienced so differently depending on the country. This time, I want to focus on how anime is enjoyed in the United States.

FROM TV SCREENS TO STREAMING PLATFORMS

Anime originated in Japan, but how did it make its way into the hands of American fans? Before the era of instant streaming, anime was already making waves on American TV. Classics like Dragon Ball, Naruto, Yu-Gi-Oh!, and Pokémon were household names, airing on Saturday mornings. But bringing anime to the U.S. wasn't just about translating words—it meant localizing the entire experience. English dubbing, cultural adjustments, and edits for "kid-friendly" standards were common. Sometimes the results were hilarious.

For example, In America kids didn't know what onigiri (rice balls) were, so in the English version of Pokémon, they were translated as donuts.

There's a famous line: "These donuts are great. Jelly filled are my favorite."

The screen clearly showed onigiri!

One Piece also underwent big changes for American TV. Everything from character outfits, weapon designs, and even storylines, were adjusted for U.S. viewers. In "One Piece", the original Japanese version, Sanji is holding a cigarette instead of a lollipop.



After 2007, Netflix shifted from DVD rentals to streaming, and anime became easier than ever to watch. Even people who weren't into anime before could try it anytime, leading to a huge surge in anime fans.



THE MANGA HUNT IN AMERICA

Back then, I loved buying manga in English at big bookstores, which carried everything, including smaller titles you wouldn't expect.

But at \$7 a book (about 1,000 yen), collecting manga was a luxury. Unlike Japanese kids who have shelves packed full of series, In America, I had to choose carefully when buying a manga book.

Now, with the weak yen making Japanese goods cheaper than ever, manga and anime merch are fueling a full-on Japan boom around the world.



Maria A Meza

ANIME EVENTS: AMERICA'S DIY COMIKET

About ten years ago, Japanese anime goods were much harder to find and very expensive. Even a small, imported hair clip could cost \$20 (around 3,000 yen) in the U.S.! Kids who owned Japanese items were admired as if they owned a luxury brand item.

Since authentic Japanese products were scarce, American fans bought Chinese-made anime merchandise or even handmade, anime-inspired goods instead. Anime events were where people could buy goods, meet other fans, and recreate the Japanese anime experience in their own way.



THE WEAK YEN EFFECT

Nowadays, thanks to the weak yen, you can buy second-hand anime figures in Japan for as little as \$3 (around 500 yen). In the U.S., finding anime goods that cheap is nearly impossible. What used to be out of reach is now affordable, whether at anime events or even regular stores. This has also inspired more foreigners to visit Japan, with anime becoming one of the main reasons people want to come.

